

「日本プロオーケストラファンクラブ協議会(JOFC)」 札幌総会2018参加御礼

「JOFC札幌総会2018」に参加された皆さん「ありがとう」と心から御礼申し上げます

2018年9月6日北海道胆振東部地震による災害が発生し、胆振管内厚真町を中心として多くの犠牲者を出した痛ましい災害となりました。札幌市清田区の一部では液状化現象による被害が深刻ですが、北海道全体がまる2日におよぶ停電に悩まされたものの、中心部はビルや家屋の倒壊もほとんどありませんでした。このような中、開催されたJOFC札幌総会に参加された皆さんへお礼申し上げます。また開催準備に際しご協力をいただいた各位にもお礼を申し上げます。沢山の応援メールありがとうございます！

「JOFC札幌総会2018」開催では大きな意味を創ることができました

今回の開催も沢山のご協力をいただきました。参加が叶わなかった北海道知事、札幌市長からもご挨拶で参加していただきました。札幌市文化部長はじめ、札幌交響楽団理事長、札幌専務理事、札幌首席指揮者バーメルト氏、産経新聞社、北海道新聞社の各記者が参加され、JOFCが単なるファンクラブから「わが町のオーケストラは文化創造の担い手」という大きな役割を共有したことです。さらには、この総会にて、「被災地コンサート開催を実現しよう」と全国で義援金募集を全会一致で採択されました。この総会ですでに8万円を超える義援金が寄せられました。札幌くらぶとしては札幌交響楽団と協力して開催実現の向け協力していくこととしました。

総会に先立ってJOFC幹事会を開催しました

参加した各団体の幹事により「JOFC幹事会」を開催し、課題について議論し以下のことを採択しました。①2019JOFC総会開催地を「仙台」としました。②2020JOFC総会開催予定地として「山形」としました。③第1回JOFC交流会を都響倶楽部主催で2019年3月17日開催を決定しました。④群響ファンズ小野代表からの提案で、9/6被災地に対して「復興コンサート開催支援」を全国JOFCで展開することが提案され決定し、今後のJOFC指標としたい提案でした。

「JOFC札幌総会2018」では仲間たちが思う存分議論ができたと思います

2018札幌総会では、札幌くらぶ実行委員会が知恵を絞って開催方法を検討しました。各団体活動報告、運営課題の明確化、具体的事例の展開方法等についてテーマ別に議論が展開され報告しました。参加された方々も時間十分とは言えませんが活発な意見交換ができたものと推察します。議論の詳細について後ほど送付します。また、話し合われた課題が次年度どのように展開されたかをしっかり把握する課題も残しています。

「JOFC札幌総会2018全国交流会」では多彩なプログラムが展開されました

開催冒頭に札幌コンマス大平さんと仲間たちによるウェルカムコンサートは素敵なひと時でした。大平氏のメンバー紹介ごあいさつの後、モーツァルト：ディベルティメントから、アンコールにユーモレスクと思いの込められた演奏でした。交流会はJOFC会長上田氏の歓迎挨拶から始まり、札幌市長急遽欠席のお詫びを札幌市文化部長前田氏が代読し、札幌交響楽団理事長村田氏のご挨拶と乾杯、テーブルスピーチにバーメルト氏、札幌専務理事鳥居氏が登場しJOFCへの認識を一層深めていただきました。その各氏からとても心に残るJOFCへの応援メッセージをいただきました。

交流会には全国から我が町の銘酒やワイン等沢山のプレゼントがあり、北海道産にこだわったホテルメニューでホテルマイステイズ札幌パークに皆さんにもご協力いただきありがとうございました。

J O F C 西川幹事長さま
実行委員各位

大変、ご丁寧なメールをありがとうございます。

大変お恥ずかしいことに、亡くなった母の好きだった曲が胸に響き、思わず涙が出てしまい、本当に申しわけありませんでした。

お隣の席だった都響の方とも色々お話をさせていただきまして、札幌のすばらしさについて、改めて教えていただきました。

我々にできることは本当にわずかかと思いますがみなさまの活動が益々発展し、札幌の、そして、全国各地の芸術文化が更に豊かになるよう、がんばりたいと思いました。

このたびは、本当に貴重な機会を頂き、ありがとうございました！

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

札幌市市民文化局文化部

前田 真子

J O F C 札幌総会開催実行委員会様

この度の J O F C 札幌大会の成功おめでとうございます。また大変お世話になりました。村岡様始め札幌くらの皆様のご尽力に敬意を表し、感謝申し上げる次第でございます。

幹事会、総会、交流会と楽しい時間を過ごさせて抱きました。交流会ではコンサートマスターのユーモアに笑いました。

コンサートも素晴らしく、レクイエムの終演時にバーメルトマエストロが祈られているような姿でいらしたのが印象的でした。勿論、演奏も感動致しました。直ぐに拍手がなかったのは、演奏の余韻に浸りたい、その時間を終わらせたくないという聴衆の意識だったかと思います。(最初の拍手をなさった方は、前の2曲でフライング的な拍手をしていましたが、レクイエムの時は流石にフライングがありませんでした。) 合唱団の歌声を聞いておりました、ギターと高崎音楽センターと響きの違いを痛感させられ、高崎と東京のトリフォニーで歌ったときの体験を思い起こし、うらやましいなあをつくづく思いました。札幌はオケも合唱団も幸せですね。

さて、私事になりますが、総会の翌日は上田会長のお話になっていた大通公園のオータムフェスタを覗き、北海道博物館へ人を訪ねて(本業である考古学の)調査、研究に大きな収穫がありました。これも今回の大会が札幌で開催されたお陰様と感じております。

尤も飛行機代をけちって遅い便にしたため、飛行機の遅延で最終のリムジンに間に合わず、東京泊まりという羽目に陥りました。安物買いの銭失いを地で行くような話で、苦笑しております。本日は頼まれ仕事の会議でそのまま埼玉の志木へ参りまして、先程帰宅したところでございますので、御礼が遅くなりました。お詫び申し上げます。

ところで、本日当会の担当から電話がありまして、確認して欲しいという依頼がありましたので、問い合わせをさせて戴きます。

急に欠席致しました当会の里吉のことでございますが、振り込みました費用のうち、返金可能なものがあるか否かを確認して欲しいというものでございます。取り敢えず可否についてご回答賜われれば幸でございます。

それでは、次回お目に掛かるのを楽しみに。先づは今回の御礼まで申し上げます。

群響ファンズ

札幌響くらぶ 様

J O F C 札幌総会に際しましては、大変お世話になりました。

心から御礼申し上げます。

直前の思いがけない災害で、準備に支障を来すことも多かったのではないかと思います。札幌響くらぶの皆さま、本当にご苦労様でした。

地震の影響で、北海道に観光客が戻らないという記事を目にします。

私としては、行くのは当たり前という感覚でしたが、受け入れ側では不安に思っておられた方が多かったのだと、改めて認識しました。

普通に接することが、何よりも大きな励ましになるのだということも、感覚的に分かったような気がします。感謝状を出すべきは、むしろ我々のほうではないかとも思いつつ、拝受しました。

今回改めて札幌響くらぶの実力を目の当たりにすることができ、感心し、うらやましくも思いました。300人の会員を擁するパワーは素晴らしいと思います。

個人的には、今度正式に札幌響団員になった赤間さゆらさんと再会できたこと（実力はもちろん人柄も素晴らしいひとですから、ぜひ札幌響くらぶの催しに呼んであげてください。）、ドビュッシーのエキストラで、知り合いの太田妃佳里さんがのっていたこと（オーボエ・ダモーレを吹きました。）、コンマスの大平さんと同じテーブルでお話できたことなど、色々嬉しいこと、楽しいことがありました。

また総会翌日の晴天の下、念願のモエレ沼公園に行くことができたのも、収穫でした。

以上、長くなりましたが、御礼をかねて感想などお送りします。

2018年10月8日

都響倶楽部 篠原 敏修